

ハウスの分類

ハウスには様々な分類法がありますが、ジョーティッシュを理解する上で極めて重要です。このハウスの象意を深く理解していないと実際の鑑定で行なうリーディングにおいて的を得たアドバイスが出来ません。

名称	該当するハウス	説明
ケンドラ	1、4、7、10室 強い順番: 10 > 7 > 4 > 1	ヴィシュヌ神が主宰する守護と力のハウスであり、このハウスに惑星が在住すると吉星でも凶星でも強くなる。 吉星が在住すると人生に力と幸福をもたらすが、凶星が在住すると凶意の影響が増すため、人生を深く傷つける結果となる。 K.N.RAO氏はケンドラに3つ以上、凶星が在住する占星術師がいたら、その人の予言は信じないと言っている。従って、ケンドラには吉星は在住していいが、凶星が在住してはいけないとされる。
トリコーナ	1、5、9室 強い順番: 9 > 5 > 1	ラクシュミー女神が主宰する富と幸運のハウスである。 このハウスは惑星が支配しても在住しても良いとされる。 このハウスを支配する惑星の時期は最も幸運な時期である。
パナパラ	2、5、8、11室	並みの力を発揮する
アポークリマ	3、6、9、12室	最も地味なハウスとされる 従って、9室に大変強いヨーガが形成されていても、その人物は社会的には大変地味だったりする配置である。

派手) ケンドラ > パナパラ > アポークリマ (地味)
アポークリマハウスは最も地味なハウスである

名称	該当するハウス	説明
トリコーナ	1、5、9室	ラクシュミー女神が主宰する富と幸運のハウスである。 このハウスは惑星が支配しても在住しても良いとされる。 このハウスを支配する惑星の時期は最も幸運な時期である。
ウパチャヤ	3、6、(10)、11室	時間と共にだんだん改善していくハウス。ウパチャヤハウスには吉星が在住するよりも凶星が在住した方がよいとされる。凶星が在住するとチャートの持ち主に困難に負けないで、打ち勝つ強さを与えることになる。逆に吉星が在住すると快樂に流されたり、困難に打ち勝つよりも安易な方向に流れる弱さをもたらす。10室はケンドラでもあるため、吉星が在住することはむしろ望まれることであり、凶星が在住すると仕事上の困難を表し、10室の象意を傷つけるが、それに打ち勝つ強さも併せ持つこととなる。 11室は吉星が在住してもよいし、凶星が在住してもよいが、吉星が在住すると、苦勞せずによくなるが、凶星が在住した場合でも他のウパチャヤと違って、11室の場合は時間と共に改善し

		ていくのではなく初めから成功する傾向がある。
ドゥシュタナ	6、8、12室 強い順番: 8 > 12 > 6	このハウスは支配しても在住しても、吉星は傷つき、凶星はさらに凶星化していくとされる。吉星も凶星も在住してはいけないハウスである。ドゥシュタナハウスのうち、8室や12室はモクシャハウスでもあるため、これらは強制的にカルマを解消させられるようなハウスである。
トリシャダ	3、6、11室 強い順番: 11 > 6 > 3	欲望、怒り、貪りを表す3欲のハウスであり、このハウスはジョーティッシュでは凶ハウスに分類される。例えば惑星は二つのハウスを支配するが、一方のハウスが8室や12室を支配して、もう一方がトリシャダハウスを支配する時、本来、支配の場合は中立的となるはずの8室や12室の象意を最悪なものに転換させる。つまり、欲望から罪を犯して苦しむ最悪の凶星に転換するのである。そのような考え方からすると6室はトリシャダハウスでもあり、ドゥシュタナハウスでもあることから単独で欲望から罪を犯して苦しむハウスと言えるかもしれない。(秀吉)
パラシュラヤ	2、12、8室 強い順番: 8 > 12 > 2	敏感な中立ハウスであり、このハウスを支配する場合、もう片方のハウスの支配が問題となる。 もう片方のハウスが1、5、9室のトリコーナ支配の場合、敏感な中立ハウスは悪影響せずに惑星は機能的吉星として振舞う。 もう片方のハウスが3、6、11室のようなトリシャダハウスの場合、パラシュラヤは凶意を發揮し、2室はマラカ、12室や8室はドゥシュタナハウスとしての凶意を強く發揮する。

上記の分類は非常に重要です。これは口述する、カルマの発芽時期を導き出すヴィムショッタリダシャーの分析においてハウスの絡みを解釈する際にこれらのハウスの分類法をもとに、クライアントが人生のどのような局面を迎えているかを判断するための材料となります。これら分類されるハウスの性質によって、クライアントがどのような心理状態にいるかまで判断可能です。

そして以下に提示する**人生の4つの目的(プルシャルタ)**もまた重要です。

これはヒンドゥー教の習慣、慣習でもあります。

このうち、ダルマハウスの影響下にある時、人は人生の真の目的に気づき、それを追求します。

アルタハウスに惑星が集中している人はお金を稼ぐことや富の蓄積に関心が高い人です。

カーマハウスに惑星が在住している人はお金を使うことや、欲望を満たすことに関心が高い人です。

モクシャハウスは解脱につながるハウスです。このハウスの分類からクライアントが人生で何を追求している人物なのかが分かります。

人生の目的(プルシャルタ)		
名称	該当するハウス	説明
ダルマ	1、5、9室	人生の真の目的、正義、法則

アルタ	2、6、10室	仕事、お金を稼ぐ
カーマ	3、7、11室	欲望を満たす、お金を使う
モクシャ	4、8、12室	解脱を得る

また人生の時期についての分類も存在します。

人生の時期	
名称	該当するハウス
ブラフマチャリア:Brahmacharya (独身の時期)	1、5、9室
グリハスタ:Grihastha (世帯主になる時期)	2、6、10室
ヴァナプラスタ:Vanaprastha (世帯主の義務から離れる時期)	3、7、11室
サンニヤシ:Sanyas (放棄の時期)	4、8、12室

Edited by Kanteiya